

⑥ DIY的まち整備

未来に必要な具体的シーン

子どもが安心して歩ける通学路や生活道路を、地域と行政が一緒に見守り、危険な作業は行政・事業者、軽作業は地域で分担している。駅前や歩道橋、公園の花壇には地域の人が育てた花が咲き、里親の名前や活動紹介が掲示されている。公園やビオトープでは、親子・学生・シニアが、虫取りや自然観察を楽しみながら整備に参加し、「行ったら楽しい」まちづくり活動が続いている。



主なシーン

- ・みんなでつくる歩きやすい安全なまち
- ・みんなでつくる「花」のまち
- ・みんなでつくる自然が身近なまち

場所・エリア

通学路／生活道路／駅前の花壇／駅前・歩道橋周辺／各公園の花壇／深田公園ビオトープ周辺

フラワータウン再生レポート

まちの再生に関する動きや変化をお知らせします

第
号

令和8年6月28日(日)に、第3回フラワータウンセンター地区「10年後のまちの未来予想図」ワークショップが開催されました。第3回ワークショップでは、7つの将来像ごとのグループに分かれ、これまで出された「資源」「心配事」「アイデア」を組み合わせながら、10年後のフラワータウンセンター地区で実現したい具体的なまちのシーンを考えました。



令和8年6月28日 第3回 10年後のまちの 未来予想図 ワークショップ

参加人数
29人

概要

フラワータウンがこれからもあらゆる世代が暮らし続けたいと思えるまちであるために、センター地区の理想的な将来の姿＝“未来予想図”を描くワークショップを開催します。参加者同士の対話を通じて、現在まちにあるもの、これから必要なものを整理し、思い描く現実と将来像とのギャップを共有しながら、持続的なまちづくりの方向性を考えます。



第3回で考えた未来のまちのシーン

⑦ 身近で気軽な買い物環境

未来に必要な具体的シーン

駅前で食品を買い、ATMで用事を済ませ、文房具を買い、必要があれば近くのクリニックに寄れる。買い物を終えた親子はイトインで休み、こどもは近くの小さな遊び場で遊び、高齢者は顔なじみと会話している。買い物に来た人が、イオンだけで帰らず、エキマエアキチ、サンフラワー、人博、深田公園へも足を延ばし、駅前から周辺へ小さな回遊が生まれている。



主なシーン

- ・日常の用事がまちの中で完結する生活
- ・買い物ついでにふらっと立ち寄れる居場所であふれるまち
- ・中心地域以外の居場所づくり

場所・エリア

新しいイオン／駅前商業エリア／サンフラワー周辺／駅前広場／エキマエアキチ／人博／深田公園

① 行きたくなる居場所づくり

- ・こどもが多様な体験・交流できる場所があるまち
- ・中高生が放課後に過ごすことができるまち
- ・多世代交流できる場所があるまち
- ・お年寄りに優しいまち
- ・ペットを連れて滞在できるまち

⑤ 若者の定着

- ・若者が住み続けられるまち
- ・若者が働き続けられるまち・通勤しやすいまち
- ・若者が帰ってきたくなるまち
- ・こどもを育て続けたいまち

② 「知りたい」が育つまち(学び・教育)

- ・関西学院大学の学生が、フラワータウンのこどもたちに勉強を教えているまち
- ・こどもも大人も、人博(人と自然の博物館)に集まって学ぶまち
- ・自然と触れ合いながら学ぶまち
- ・ボランティアが溢れてつながれるまち

⑥ DIY的まち整備

- ・みんなでつくる歩きやすい安全なまち
- ・みんなでつくる「花」のまち
- ・みんなでつくる自然が身近なまち

③ 非日常的にぎわい

- ・多世代交流なまち
- ・子育て世代が帰ってくるまち
- ・人を呼び込むまち・音楽を楽しめるまち
- ・公共施設をイベントなどに利用できるまち

⑦ 身近で気軽な買い物環境

- ・日常の用事がまちの中で完結する生活
- ・買い物ついでにふらっと立ち寄れる居場所であふれるまち
- ・中心地域以外の居場所づくり

④ 交通・移動

- ・こどもがひとりで自由に買い物、習い事に行けるまち
- ・フラワータウンと他地区を気軽に行き来できるまち
- ・誰でも自由に買い物ができる場所を選べるまち

第4回
申込はこちら
申込×切
7/20



7つの将来像ごとのグループに分かれ、これまで出された「資源」「心配事」「アイデア」を組み合わせたながら、10年後のフラワータウンセンター地区で実現したい具体的なまちのシーンを考えました。

ワークの結果を整理した内容や、まちの具体的なシーンのイメージを掲載します。

① 行きたくなる居場所づくり

未来に必要な具体的シーン

深田公園や水辺で、子どもが水遊びや虫とり、植物観察を楽しみ、人博の先生や地域ボランティアが見守る。

駅前や公共施設には、中高生が放課後に自習したり友達と話せる場所があり、エキマエアキチや駅前近くでは、高齢者や保護者が子どもを見守りながら休める。

深田公園や散歩道では、ペットを連れたい人が立ち寄り、犬友同士や地域の人々が自然に交流する。自然、学び、休憩、見守り、ペットとの滞在がつながり、世代や目的を問わず「行きたくなる居場所」が生まれている。



主なシーン

- ・子どもが多様な体験・交流できる場所があるまち
- ・中高生が放課後に過ごすことができるまち
- ・多世代交流できる場所があるまち／お年寄りに優しいまち
- ・ペットを連れて滞在できるまち

場所・エリア

深田公園／人博／エキマエアキチ／サンフラワー／市民センター／散歩道

② 「知りたい」が育つまち

未来に必要な具体的シーン

放課後、子どもたちが人博やセンター地区の施設に集まり、関西学院大学の学生に宿題や調べ学習を見てもらっている。

人博では、子どもも大人も展示を見たり、研究員の話の聞いたり、休憩しながら学んでいる。

深田公園や花壇では、雑草や植物のことを学びながら手入れを行い、フラワータウンらしい花や自然を地域で育てている。

駅前や公共施設に行けば、学び・自然・ボランティア活動の情報が分かり、やりたい人と必要としている場所がつながるまちになっている。



主なシーン

- ・関西学院大学の学生が、フラワータウンの子どもたちに勉強を教えているまち
- ・子どもも大人も、人博（人と自然の博物館）に集まって学ぶまち
- ・自然と触れ合いながら学ぶまち
- ・ボランティアが溢れてつながれるまち

場所・エリア

深田公園／人博／市民センター／エキマエアキチ／駅前花壇／遊歩道

③ 非日常なにぎわい

未来に必要な具体的シーン

駅前では、キッチンカーや小さな催しに、こども連れ、高齢者、仕事帰りの人がふらっと立ち寄っている。お盆には、小学校や駅前でふるさと祭りが開かれ、帰省した若者や子育て世代が友人と再会している。

人博・深田公園・円形劇場では、自然、食、音楽、フリマ、ワークショップが組み合わさり、地域内外から人が訪れる「行ってみたいまち」のにぎわいが生まれている。



主なシーン

- ・多世代交流なまち
- ・子育て世代が帰ってくるまち
- ・人を呼び込むまち・音楽を楽しめるまち
- ・公共施設をイベントなどに利用できるまち

場所・エリア

エキマエアキチ／新しいイオン／サンフラワー／小学校校庭人博／深田公園／市民センター

④ 交通・移動

未来に必要な具体的シーン

小学生や中学生が、親の送迎がなくても、駅前やウッディタウン、習い事、地域クラブへ行ける。高齢者は、バスや小さな移動手段を使い、病院、買い物、市民センター、ごみ出し、地域活動に参加し続けられる。

フラワータウン駅やバス停では、目的別の交通情報が分かりやすく示され、こどもも高齢者も「行きたい場所へ行ける」まちになっている。



主なシーン

- ・こどもがひとりで自由に買い物・習い事に行けるまち
- ・フラワータウンと他地区を気軽に行き来できるまち
- ・誰でも自由に買い物ができる場所を選べるまち

場所・エリア

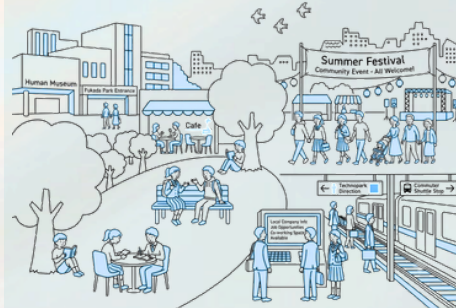
フラワータウン駅／バス停／習い事施設（サンフラワー）／学校・体育館／エキマエアキチ／大阪・神戸方面

⑤ 若者の定着

未来に必要な具体的シーン

人博・深田公園・駅前が一体的に使われ、若者がカフェで勉強したり、学校帰りに自習・読書・友達との会話を楽しんだりしている。

駅前では企業情報や働く場所の情報に触れることができ、テクノパーク方面への通勤もしやすくなっている。夏祭りや地域行事には、若者・学生・子育て世帯も関わり、帰省した時に友達と会える「故郷の記憶」が育っている。



主なシーン

- ・若者が住み続けられるまち
- ・若者が働き続けられるまち／通勤しやすいまち
- ・若者が帰ってきたくなるまち
- ・こどもを育て続けたいまち

場所・エリア

人博／深田公園／駅前／新しいイオン周辺／サンフラワー／駅前の交通結節点／学校／落ち着いた住宅地／緑道や公園